

教師ノート

日付 2016年 7月24日

単元 創世記・2

テーマ 神の約束

タイトル ノアの箱舟・2－約束の虹－

テキスト 創世記 7:6-9:17

参照箇所 ヨハネ 3:16

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)
創世記 9:13

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[小上1巻1題4課](#)、[小下2巻1題6課](#)

メモ(情報・例話など)

先週に引き続いて、ノアの箱舟のメッセージです。神さまがとうとう洪水によってノアの家族以外の人類を滅ぼされる場面です。しかしテーマは、洪水そのものではなく、もう洪水で人類を滅ぼすことはしないという、「神さまの愛の約束」です。神さまは、罪を犯す人間を滅ぼさず、みんなが救われるように待っていてくださっています。ノアが箱舟で救われたのと同じように、イエスさまを信じて従う人は、救われるということを、子どもたちに伝えましょう。

ノアの箱舟の記事については、まだ不明な点が多くあります。子どもたちも、純粋な疑問を抱く点が多くあると予想されます。例えば、「箱舟の中で、動物はどのような状態であったのか?」など。もし、メッセンジャーが考古学の推論の1つを紹介することができれば、それも良いかも知れません。しかし、聖書に明確な記述がないことに関しては、「それはわからないんだよ」、「あなたはどう思う?」、「天国でノアさんに聞くのが楽しみだね」と一緒に考えるのも真実な方法です。どちらの方法にしても、子どもたちが、聖書っておもしろい、もっと調べてみたいと、興味を持つように導きたいものです。

□導入

興味を起す質問をしましょう

例:みんなは、大切な約束をしたとき、何か「しるし」をつくったり、記念の品物を買ったりしたことがありますか?それはどんなモノですか(キーホルダーなど?)。それを見るたびに約束を思い出すことができますね。神さまが私たちにしてくださった大切な約束とは何でしょう?それを忘れないためのしるしとは何でしょうか?

☞必要であれば、簡潔に先週のメッセージの復習をしましょう。7章の1～5節を読むことで、先週の内容をまとめて振り返ることができます。ノアの箱舟については、絵本や紙芝居、ビデオが多く販売されています。視覚教材を積極的に活用しましょう。[小学科下級2巻25～26](#)、[29～30ページ](#)にも、ストーリーの簡潔な説明があります。

□ポイント1 神さまはとうとう洪水によってノアの家族以外の人類を滅ぼされました

[小学科下級2巻p29～30ページ](#)参照。ノアが600歳の時とうとう洪水が起こりました。その直前にノアの家族と動物たちが箱舟に乗り込みました。そして神さまは箱舟の戸を閉じられました。天の水門が開かれ、大雨が40日間降り続けました。水は150日間増え続け、ノアの箱舟に乗っている人と動物以外、地上の生物は全て死に絶えました。その後、水は減り始め、箱舟はアララテ山の上にとどまりました。ハトを放って土地の水が乾くのを確かめました。洪水の初めから、水が乾ききるまで、1年10日間でした。

📍 アララテ：海拔1830メートルの山の多い高原。トルコの北東からペルシャに広がっている。アララテと呼ばれるひとつの峰は高さ5410メートルです。[小学科下級2巻p28](#)

□ポイント2 神さまは、もう洪水で人類を滅ぼすことはしないと約束されました

箱舟から出たノアは、祭壇を築いていけにえをささげ、神さまを礼拝しました。きよい動物は7つがいくつかの箱舟に入ったので(7:2)、その内からいけにえがささげられたものと思われます。まだ献げものの制度は確立していませんでしたが、感謝、賛美、贖い、献身のための献げものだったと考えます。神さまはそこをおかきで(ノアの礼拝する心を見て)、もうこの地をのろうことはしないと約束してくださいました。神さまは、もう洪水で人類を滅ぼすことはしないと契約のしるしとして、虹を立てると言われました。

📍 「いけにえ」罪をゆるしてもらうために、神さまにささげた動物のことです。「祭壇」とは、いけにえを献げる場所のこと。ノアは石を積んで造ったのでしょう。全焼のいけにえについてはレビ1章、きよい動物については、レビ11と申命記14参照。

□ポイント3 神さまは罪人が滅びることではなく、イエスさまを信じて救われることを願っておられます

神さまは、罪人を滅ぼすようなことはしないと約束してくださいました。現在も、神さまはその約束どおり、悪い思いばかりをもつ人間をあわれみ、罪が増え広がる地を忍耐して支えてくださっているのです。そればかりでなく、神さまはそのひとり子をこの世に遣わしてください、その命の代価ですべての罪人を救ってくださったのです。私たちは、ただ神さまのあわれみによって、滅ぼされることなく、救いを得ることができたのです。同様に、神さまは、まだイエスさまを信じていない人が、ひとりでも多く、世の終わりまでに救われて欲しいと願って待ってくださっているのです。クリスチャンは、恵みによって生かされていることを、忘れないでいつも感謝しましょう。そして、神さまと同じ思で、まだ救われていないお友だちや家族を愛し、その人たちがイエスさまを信じるように祈り続けましょう。

□結論 神さまは、もう洪水で罪を犯す人間を滅ぼすことはしないと虹をかけて約束してくださいました 暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

あなたは何でも自分の力でやっていると思いませんか？ またモノやお金など目に見えるものによって生きていると思いませんか？ 罪を犯す人間は、神さまに滅ぼされても仕方ない存在・・・でも神さまが恵みによって私たちを生かしてくださっているのです。

今の時代も、罪がますます増え広がっていることを、神さまは悲しんでおられます。しかし神さまは、私たちが救われるように私たちの罪の身代わりとしてイエスさまを十字架にかけてくださいました。神さまの愛の約束のとおりあなたに救われたことを感謝しよう！ また、神さまはあなたの家族やお友だちも救われるように待ってくださっていることを信じよう！